日本糖尿病療養指導士（Certified Diabetes Educator of Japan; CDEJ）とは？

■糖尿病治療にもっとも大切な患者さんの自己管理（療養）を指導する医療スタッフ

■高度で幅広い専門知識をもち、患者さんの糖尿病セルフケアを支援

■一定の経験を有し試験に合格した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられる資格

© 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構

日本糖尿病療養指導士に認定されるには ？

1. 認定試験の受験資格

① 医療職の資格（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士のいずれかの資格を有する）

② 一定の条件を満たす医療施設で、継続2年以上糖尿病療養指導の業務に従事し、通算1,000時間以上の療養指導経験がある

※医療施設の条件は、「日本糖尿病学会専門医あるいは常勤学会員医師が受験者を指導」している施設で「外来診療」「患者教育・食事指導」を行っていることなど

③ 上記期間中に、自分が携わった糖尿病療養指導の自験例を10例有する

④ 認定機構の講習会（受験者用）を受講し受講修了証を取得している

© 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構

日本糖尿病療養指導士に認定されるには ？

2. 認定試験を受ける ⇒ 合格

毎年3月に実施

詳細は日本糖尿病療養指導士認定機構ホームページ

http://www.cdej.gr.jp/

3. 認定期間は5年間

5年毎に更新

© 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構

認定更新

1. 認定更新の条件

① 認定機構が認める施設で通算3年以上糖尿病療養指導の業務に従事している

② 認定機構主催の講習会認定（更新者用）に1回以上出席し、受講修了証を取得している

③ 自己の医療職研修20単位および糖尿病療養指導研修20単位を取得している

④ あらたな糖尿病療養指導の自験例を10例以上有している

2. 認定期間延長

特別な事情（海外在留、病気療養など）で更新が不可能の場合、認定期間を延長することができる

© 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構

糖尿病療養指導チームメンバーの役割分担(例)*

糖尿病療養指導ガイドブック より

療養指導項目	医師	看護師 准看護師	管理栄養士 栄養士	薬剤師	臨床検査技師	理学療法士
糖尿病の診断、治療方針の決定	●					
療養における自己管理の意義	○	○	○	○	○	○
療養上の課題/問題把握**	●	●	○	○	○	○
食事療法の概要	○	○	○	○	○	○
栄養管理の意義	●	○	●			
献立・調理の理論と実践	○		●			
薬物治療の概要	○	○	○	○	○	○
薬剤の作用機序	●			●		
服薬指導	○	○		●		
自己注射指導	○	○		○		
糖尿病に関する検査の概要	○	○	○	○	○	○
検査の意義	●				●	
血糖自己測定	○	○		○	○	
運動療法の概要	○	○	○	○	○	○
運動の種類と効果	●					●
運動の実践方法と評価	○					●
療養指導の計画と立案	●	○	○	○	○	○
療養指導の実践と評価	○	●	○	○	○	○

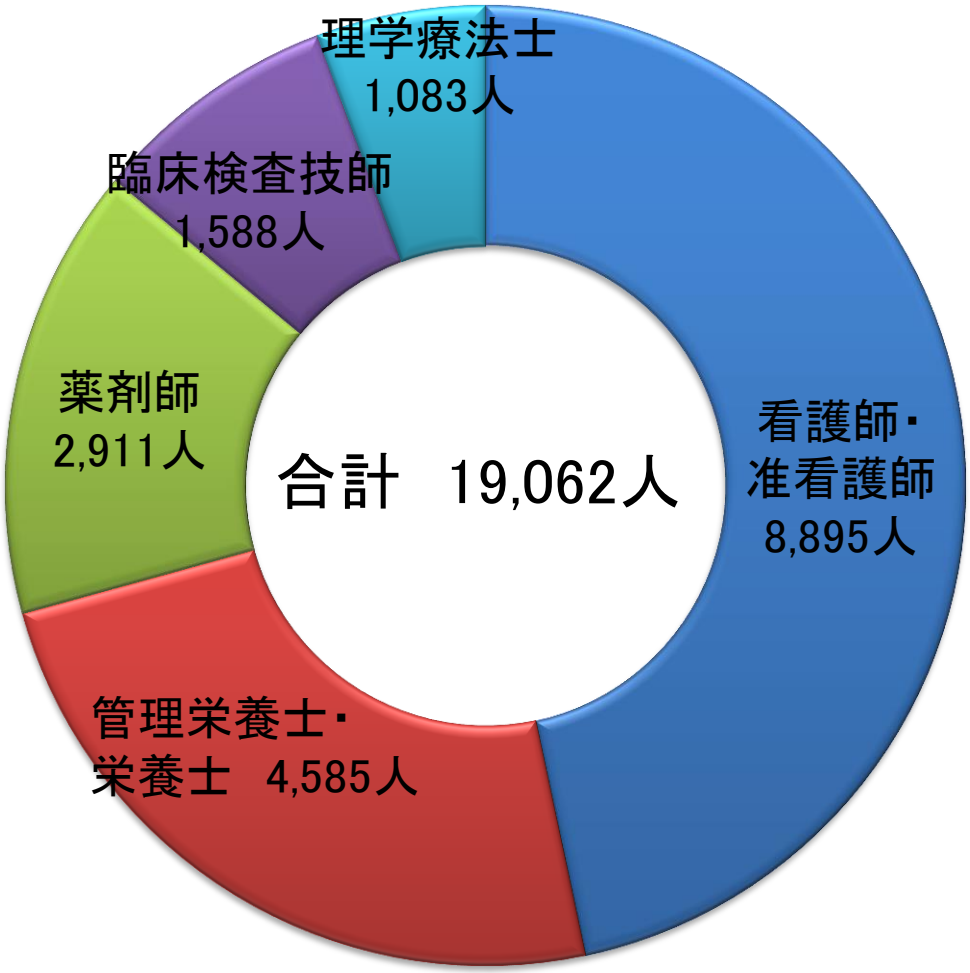
○:一般的であるが患者教育として必要なもの、●:特に専門知識を必要とするもの

*:この表は各職種の役割分担の1例である。表に示した●の役割を担う、医師以外の職種がいない施設では、医師、あるいは医師の指示のもとで他の職種がその役割を分担する。

**:療養上の知識・生活経験に関して、情報収集・アセスメントし、過大や問題点を明確化する。

© 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構

日本糖尿病療養指導士の数

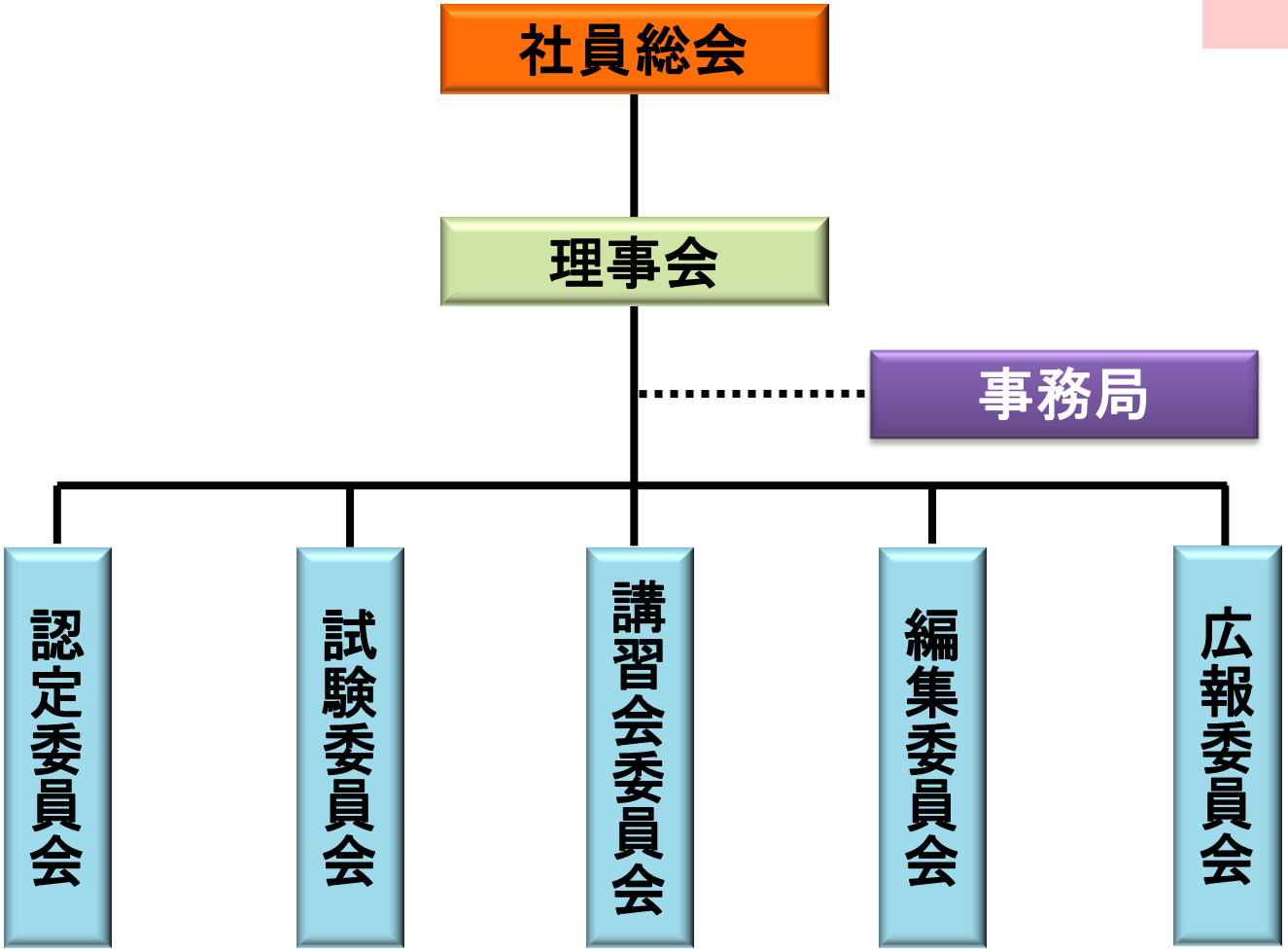


平成28年6月現在（准看護師、栄養士の受験資格は第5回認定試験まで）

© 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構

日本糖尿病療養指導士認定機構

組織



© 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構

日本糖尿病療養指導士認定機構

主な事業（活動）

1. 講習会の開催

受験者用講習会を開催（2日間 9月～11月 全国数都市＋eラーニング）

認定更新者用の講習会を開催（2日間 11月～2月 全国数都市＋eラーニング）

2. 認定試験の実施

年1回認定試験を実施（3月 全国7都市）

3. ガイドブックの発行

「糖尿病療養指導ガイドブック」（毎年発行）

4. 認定証の交付

認定試験合格者・更新者に「日本糖尿病療養指導士」の認定証を交付

5. 認定資格の審査

認定試験受験資格審査、認定更新審査（5年毎）、認定期間延長審査など

6. 広報活動

CDEJ News Letterの発行（年4回）

ホームページの運営など

© 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構